

事業実績報告書

(団体名: 太田里山の会)

事業名	こんにゃく・さつまいも・シイタケ等の栽培活動
実施した場所	葛城市太田地区内
参加者・実施回数等	12名・52回
実施した内容 (詳しく記入して下さい)	<p>3月上旬に椎茸菌6000個を植菌、4月にはコンニャク芋里芋を植え付けサツマイモ苗を300本植え付け、黒豆の播種を行う。春から初夏の作業をし、除草作業も多く、作業軽減の目的で ヤギ2頭を導入飼育中。9月には圃場内の農道の整備と一部坂道のコンクリート舗装工事を行う。圃場内未耕作地の除根整地作業によりコンニャク栽培面積を広げる。11月には夢フェスタに参加出店し、黒豆・サツマ芋・里芋・みかん等を販売する。12月には新規整地した畑にコンニャク芋を植え付けする。2年前に植え付けたコンニャク芋を試し掘りして大きい物を収穫する。平成27年2月8日の寺口地区のイベントに初めて串コンニャクを販売する。</p> <p>大型冷凍庫が使える様になったので 年間を通じて自前の生芋コンニャクを使用出来る様になった。イベントや地区のコンニャク作り教室も開催出来る様になった。</p>
得られた効果	この2年間で耕作放棄地であった所が素晴らしいコンニャク芋の圃場になり、農道も整備され作業がし易くなった。栽培面積も広がり 多くのコンニャク芋を植え付ける事が出来る様になった。
今後の展望	今まで黒豆・里芋・椎茸・サツマ芋も栽培してきたが、我々の最終目標はコンニャクを太田地区の特産品とする事が目的で有る為 今後は主にコンニャク栽培をし、栽培面積の拡大を図り年間を通じて自前のコンニャク芋で加工から販売迄の6次産業化を目指す。そして除々にその他作物の栽培を減らしていく計画である。
事業を実施してみた感想など	コンニャク芋の秋～冬の管理方法が産地の群馬県・茨城県に比べ温度差があり、教科書通りにいかず 最終的にはこの地に適合した栽培方法を考えていかなければならない。串コンニャク作りは良いコンニャクと出汁を作るのに苦労したが、以後何度も試作を重ねより良い物を作って行きたい。

*この様式に記載しきれない場合は、別紙にて報告資料を提出いただいてもかまいません。